

音楽朗読劇 You can fly!～明日を信じて～

(11月16日)

今日は、甲府市ドリームキャンパスの取り組みとして、山梨出身の作曲家・ピアニスト小林真人さんと音楽劇団「あっちこっち」のみなさんが公演に来てくださいました。小林さんの曲は6年生の教科書にもなっています。その楽曲のメッセージが今日は朗読劇となって生まれ変わりました。間近で観たり聴いたりする劇と音楽の迫力に、子供たちは様々なことを感じたようです。人との出会いは宝です。この出会い、経験、体験が、自分の人生のどこかに引っかかる人もいるでしょう。小林さん、音楽劇「あっちこっち」の皆様、関係諸機関の皆様、本日は中道北小の5、6年生に貴重な体験をさせてくださったこと、感謝申し上げます。



～みんなの感想から～

- ・歌っている時の表情がってもすてきな笑顔で、楽しい感じが伝わってきました。
- ・ピアノの弾き方で、自分の感情が表わせるのはすごいなと思いました。
- ・生の演奏をあんなに近くで聞くのは初めてでした。
- ・初めて生でピアノを聴くのが小林さんでよかったなと思いました。鳥肌がたちました。
- ・ユニコーンと会話していて、低い音、高い音で表情を表していてすごいと思いました。
- ・物語の内容と演奏が合っていてそのときの気持ちがよくわかりました。
- ・4人で歌っているとき、息が合っていてすごく楽しそうでした。
- ・ユニコーンが音で会話しているのがおもしろかったです。
- ・体で表現していて、いつもより距離が近くだったので、より迫力満点でした。
- ・ピアノの音色は場面によってちがいました
- ・こんなに楽しそうに歌う人たちを初めて見ましたしっかり口を大きく開けていて、きれいな歌声で、真剣に歌っていて、なのに、表情はものすごく楽しそうで。すごいなと思いました。
- ・言葉だけではなく、音楽で伝えていることがすごいと思いました。歌とピアノの表現力におどろきました
- ・ぼくは今日の劇を見て人前で何かする恥ずかしさがなくなりました。恥ずかしさをとってくれてありがとう。
- ・ぼくもピアノをやっていてピアノが好きです。いつか小林さんと連弾してみたいです。
- ・ピアノは伝えたい気持ちを伝えられる楽器だと思いました。
- ・ボディパーカッションが楽しかったです。物で音を出すのではなく自分の体で音を出すことが楽しかったです。
- ・劇団あっちこっちのみなさんは、演劇を始めたきっかけはちがうけど、同じ方向を向いて一緒にがんばるのがすごいと思いました。
- ・最後の話を聞いて、いつ好きなことを始めてもいいんだなと思いました。
- ・自分もサッカーをしていてなかなかうまくいかないこともありましたが、今日の劇を見て、これからはもっとサッカーをがんばろうという気持ちがでてきました。
- ・この朗読劇を見て、この先の自分の夢を実現しようと思いました。



- ・自分のやりたいことは遅くても、自分が努力すればできると言うことがわかりました。
- ・私も自分の好きなことをあきらめずにやって、あっちこっちのみなさんのように、仕事として好きなことができる日が来るといいなと思いました。